



2025年5月15日

各 位

会社名 大黒屋ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 小川 浩平
(コード番号:6993 東証スタンダード市場
問合せ先 財務経理部マネージャー 今長 岳志
(TEL 03-6451-4300)

2025年3月期通期連結業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

2025年2月14日に公表いたしました2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日)の通期連結業績予想値と本日公表の実績値とにおいて差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	包括利益
前回発表予想(A)	百万円 10,515	百万円 △686	百万円 △883	百万円 △828	円 銭 △5.86	百万円 △858
今回実績値(B)	10,232	△904	△1,076	△968	△6.58	△1,004
増減額(B-A)	△283	△218	△193	△140	△0.72	△146
増減率(%)	△2.7%	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	10,967	△143	△446	△539	△4.60	△574

2. 通期連結累計期間における差異発生 の主な理由

2025年3月期の通期連結業績につきましては、2025年2月14日の予想(以下「前回予想」といいます。)と比べて、在庫積み増しを下方修正したための売上減少が主な要因です。当社グループの根幹会社である株式会社大黒屋(以下「大黒屋」といいます。)において、大黒屋の在庫積み増しについては、前回予想では、第4四半期で在庫を16.4億円程度まで積み増すこととしておりましたが、買取店の増加による他社との競合等により落ち込んでいる在庫水準(棚卸資産1,420百万円、前回予想同期比216百万円減少、13.2%減)を予定どおり積み増すことができませんでした。

以上により、売上高は、前回予想から283百万円減少し、10,232百万円という結果になりました。

この売上の下方修正に伴い、営業利益及び経常利益の各収益指標におきましても、売上高の業績が予想値に対して下振れしたことで、それぞれ業績予想値を下回る数値となりました。また、販売費及び一般管理費も、メルカリとの業務提携事業である「買取リクエスト」で査定するための、進化したグーグルビジョンAIを用いた新しいAI自動買取システムの開発を行ったことから、予定よりも151百万円増加したためであります。

以上